

市民アンケート調査結果

1. 調査概要

目的	「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定にあたり、市民の地球温暖化に対する考えや日常の温暖化防止のための行動を把握し、計画内容に反映することを目的として、アンケート調査を実施しました。		
調査対象	糸魚川市在住の男女1,000人を対象とし、無作為に抽出		
調査期間	平成25年1月29日～平成25年2月8日		
調査方法	自記入による郵送調査法		
回収結果	対象者数	回収数	回収率
	1,000	491	49.1%

2. アンケート結果

(1) 総括

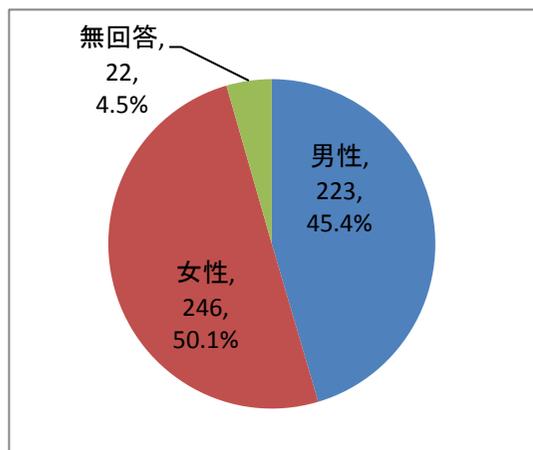
- ・ 環境に関するイベントや学習会については、参加率は低いですが、5割の方が参加の意向があります。イベント等の周知方法や、公民館単位の開催などの工夫により、より参加しやすいようにしていく対策が必要です。
- ・ 習慣づけて実施できる行動の取組みの実施率は比較的高く、買い替えを伴う行動の実施率は低い傾向がありました。
- ・ 習慣づけて実施できる行動については、すでに7割～9割の方が実施しているものが多く見られました。特に、こまめな消灯やごみ分別等、生活の快適さに影響しない行動については高い実施率が見られました。
- ・ 一方、冷暖房や給湯等、工夫を伴わないと快適さを低減させる行動については、5割～6割とやや実施率が低い傾向がありました。冷暖房や給湯については、エネルギー消費量が大きいため、今後これらの行動促進にかかる対策が必要です。
- ・ 機器買い替えを伴う行動は、全般的に低い実施率となりました。省エネテレビの導入は6割とやや高い実施率でしたが、照明・冷蔵庫・エアコンについては3割の導入率でした。これらの家電は計画期間内に買い替えが想定されるものですので、買い替えを契機とした省エネ機器普及に向けた対策が必要です。
- ・ 給湯機器の省エネ化、自宅の省エネ改修については、2割と実施率が低い傾向がありました。特に給湯対策は家庭の省エネの大きな柱であるので、買い替えを契機とした省エネ機器普及に向けた対策が必要です。
- ・ 再生可能エネルギー設備の導入については、全般的に実施率・実施意向ともに低い傾向がありました。普及啓発に向けた対策が必要です。
- ・ 習慣づけて実施できるエコドライブについては、実施率が高い傾向にあります。一方、公共交通機関の利用に関しては、5割の方が実施予定なしとしており、自動車利用の削減に向けた対策が必要です。
- ・ エコカーへの買い替えについては、実施率が低い傾向にあります。温室効果ガスの削減効果が高いことから、自動車の買い替えを契機としたエコカー普及に向けた対策が必要です。
- ・ マイバッグや水筒などについては、他の習慣づけて実施できる行動と比べて、実施率が低い傾向がありました。ごみ減量に対する意識は高い傾向にあることから、容器包装類の減量に向けた対策が必要です。

- ・地域の森林資源の利用については、実施率・実施意向ともに低い傾向がありました。森林は、温室効果ガス吸収源となることから、利用促進に向けた対策が必要です。

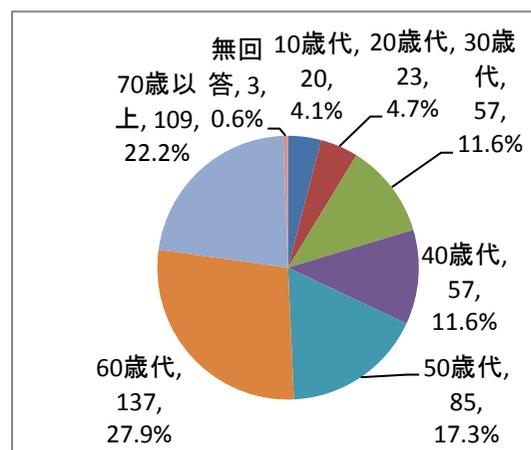
(2) 個別結果

問1 あなたについてお聞きします。

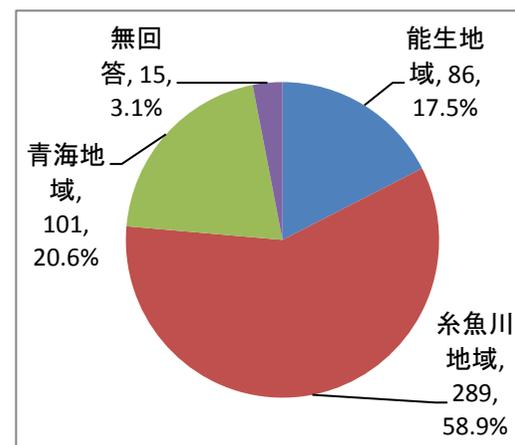
①性別



②年齢



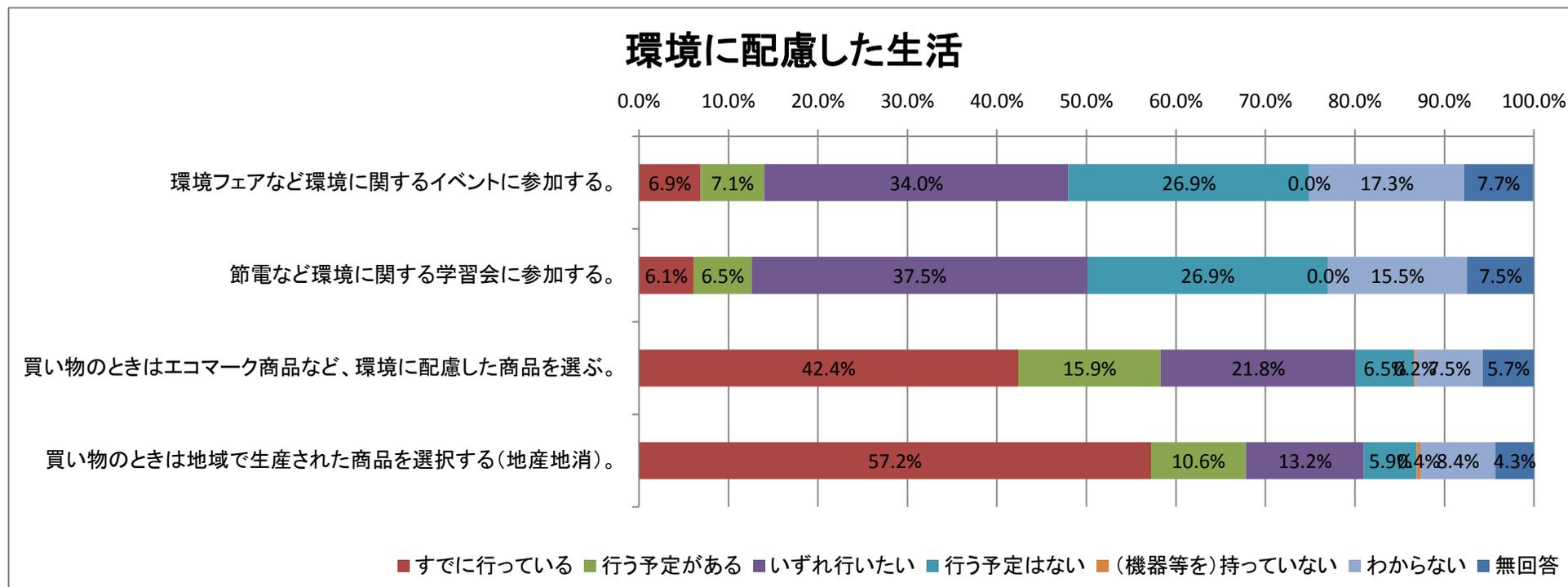
③居住地域



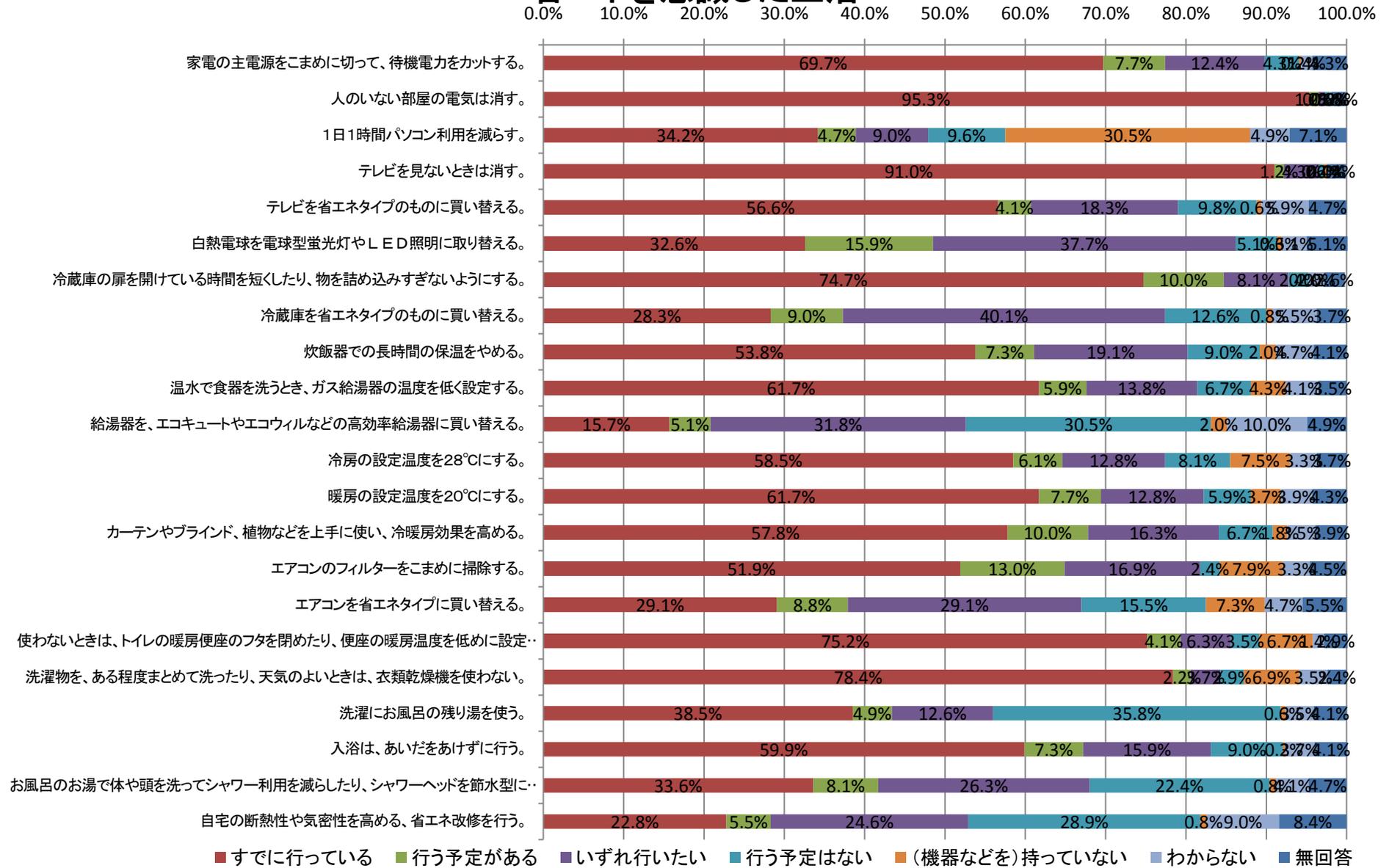
問2 あなたは、地球温暖化問題についてどのように考えていますか。

	件数	比率
1. 大切な問題であり、市民一人ひとりが生活様式を変えていかなければ解決できないと思う。	379	77.2%
2. 大切な問題だと思うが、現在の生活を変えなくても大丈夫だと思う。	59	12.0%
3. 技術の進歩で解決できるので、自分から取り組もうとは思わない。	4	0.8%
4. 地球温暖化問題は企業や行政の責任であり、自分から取り組もうとは思わない。	9	1.8%
5. 関心がない。	5	1.0%
6. その他	17	3.5%
7. 無回答	18	3.7%
合計	491	

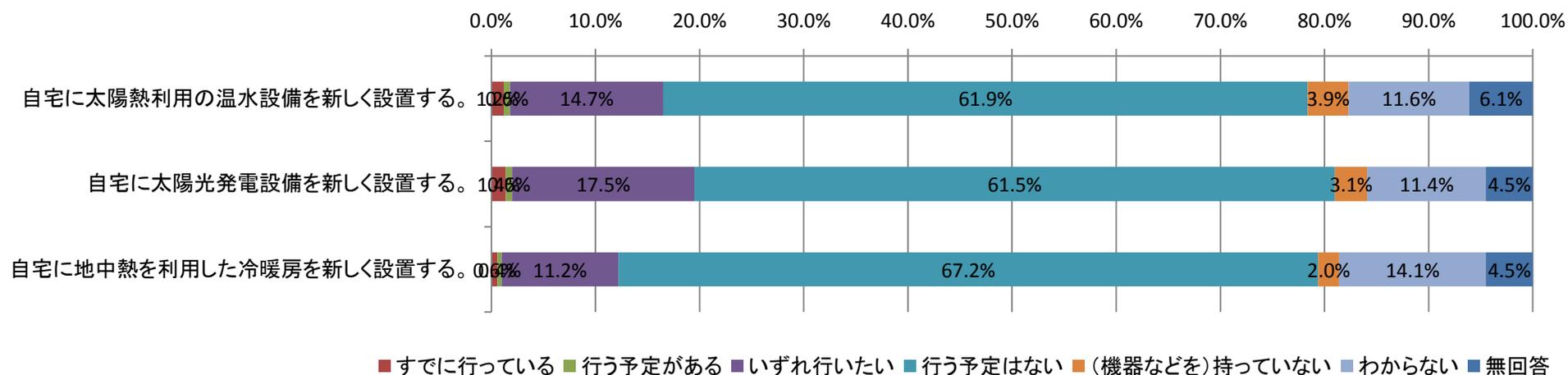
問3 地球温暖化防止のために日常生活で取り組んでいることは何ですか。



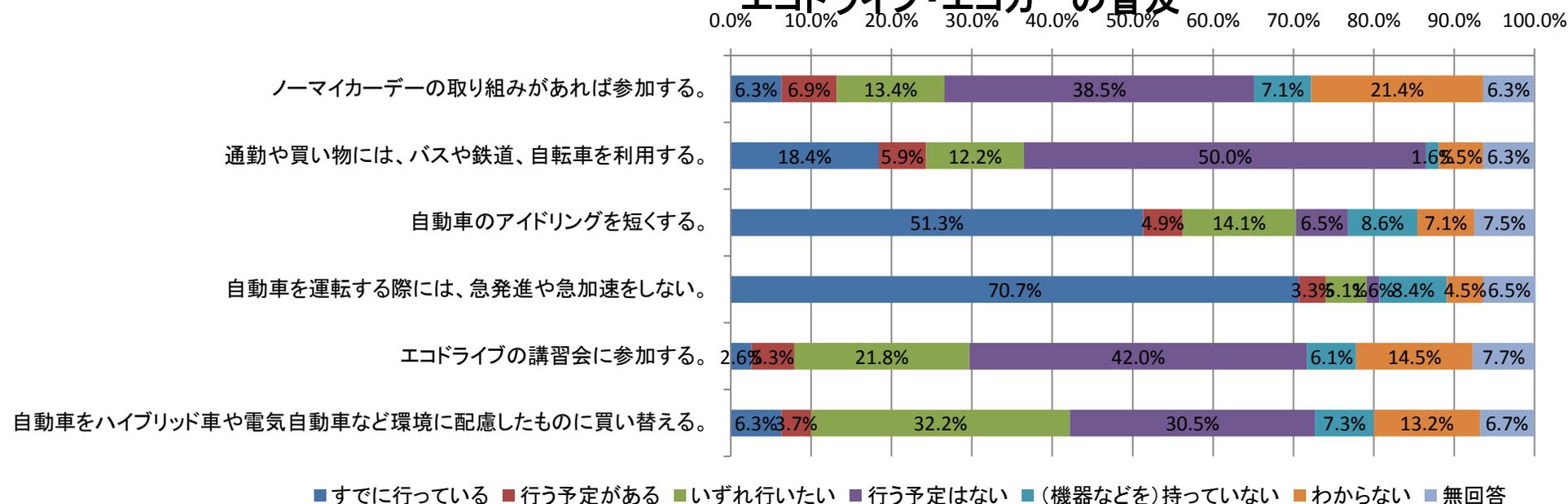
省エネを意識した生活



エネルギーの地産地消

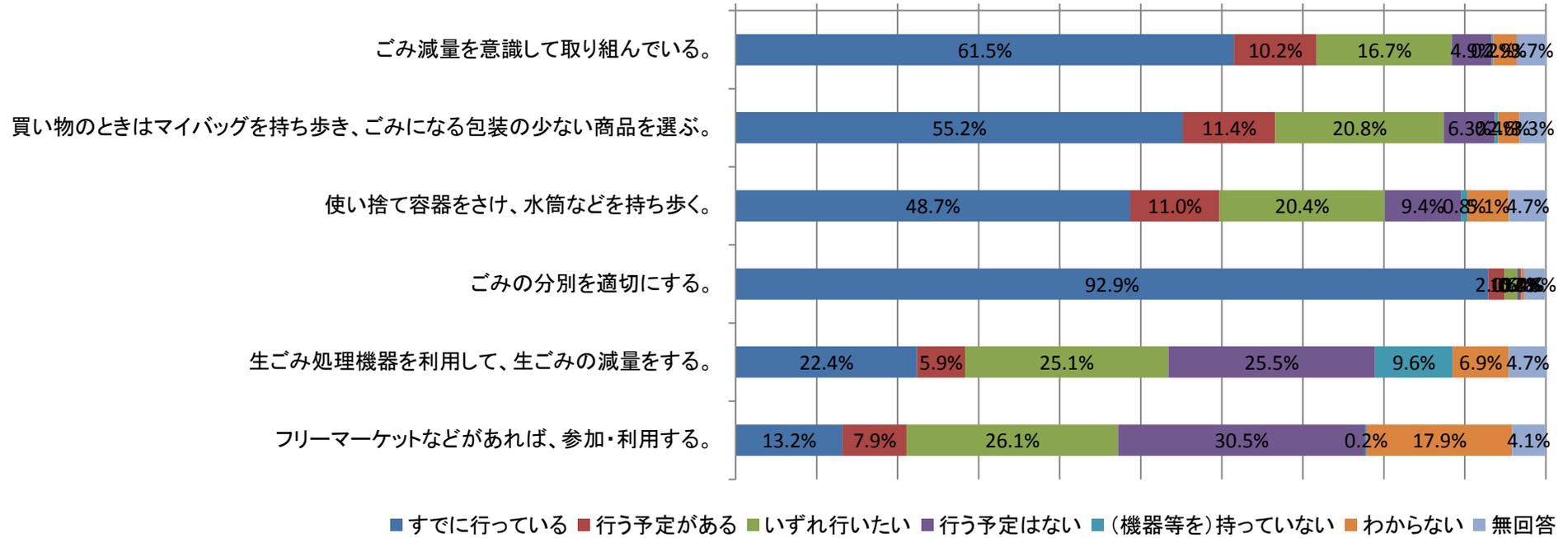


エコドライブ・エコカーの普及



ごみの減量・リサイクル

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%



森林資源の利用促進

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

